

みずほCustomer Desk Report 2023/01/04 号 (As of 2023/01/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	130.82	1.0677	139.73	1.2060	0.6807
SYD-NY High	131.40	1.0683	139.98	1.2080	0.6834
SYD-NY Low	129.51	1.0520	137.45	1.1900	0.6689
NY 5:00 PM	131.01	1.0549	138.14	1.1968	0.6727

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,136.37	▲ 10.88	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,386.99	▲ 79.50	日本10年債	-	-
S&P	3,824.14	▲ 15.36	米国2年債	4.3793%	▲0.0465%
日経平均	-	-	米国5年債	3.9054%	▲0.0933%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.7511%	▲0.1266%
シカゴ日経先物	25,815.00	45.00	独10年債	2.3730%	▲0.0670%
ロンドンFT	7,554.09	102.35	英10年債	3.6480%	▲0.0155%
DAX	14,181.67	112.41	豪10年債	4.0310%	▲0.0030%
ハンセン指数	20,145.29	363.88	USDJPY 1M Vol	14.87%	0.08%
上海総合	3,116.51	27.25	USDJPY 3M Vol	13.15%	0.14%
NY金	1,846.10	19.90	USDJPY 6M Vol	12.08%	0.14%
WTI	76.93	▲ 3.33	USDJPY 1M 25RR	▲1.79%	Yen Call Over
CRB指数	270.18	▲ 7.57	EURJPY 3M Vol	12.41%	0.16%
ドルインデックス	104.52	1.00	EURJPY 6M Vol	11.74%	0.11%

アジア	ドル円はアジア時間オープン前に131.40まで上昇した後、すぐに巻き戻し130.82レベルでオープン。直後から軟調な値動きが続くと、東京休日で参加者も限定的となる中で急速に円買い圧力が強まり、130円台を割る水準まで下落。前日海外時間に報道された日銀の1月会合での物価見通し上方修正観測が、近い将来の金融緩和修正の可能性を意識させてか、その後もドル円は下値を探る展開が続いた。昼過ぎに安値129.51をつけて以降は下げ止まり、引けにかけて小幅に値を戻した後、129.81レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は129.81レベルでオープンし、約150銭の値幅で売り買いが交錯し方向感なく推移。朝方はドルの買いが優勢に。131円台手前まで急騰した後は、市場はドル売りに一転し、130円半ばまで反落。その後、ドル買いが再び優勢となり、日中高値を更に伸ばし一時131.20まで切り上げた。130.97レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	本邦休場で薄い取引の中、海外市場のドル円は年末からの今月の会合での日銀のインフレ見通しが上方修正されるとのニュースが意識された他、中国12月製造業PMIが弱かったことが意識されたのか円買いが優勢となり、一時129.51まで下落するが、その後はドル買いが優勢となり、130.97レベルでNYオープン。朝方は米12月製造業PMI(確報値)が予想と一致するが、買い戻されたドルが売り戻される展開に130.05まで反落する。その後は大きく低下していた米金利が下げ幅を縮小させる展開に131.00まで戻す。午後は株式市場が軟調に推移する動きを受け円買いが優勢となり、130.58まで下落し131.01レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で1.0683まで戻すが、ドイツのインフレ指標結果発表を控え、弱めの結果が期待されたのかユーロ売りドル買いが強まり1.0520まで下落し、1.0536レベルでNYオープン。朝方は一旦ドルが売り戻される展開に1.0598まで戻すが、その後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、1.0549レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・多川

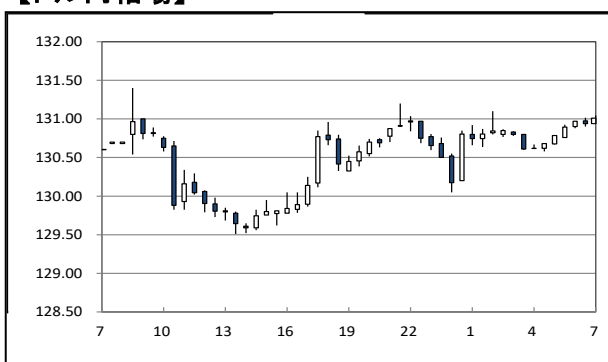
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

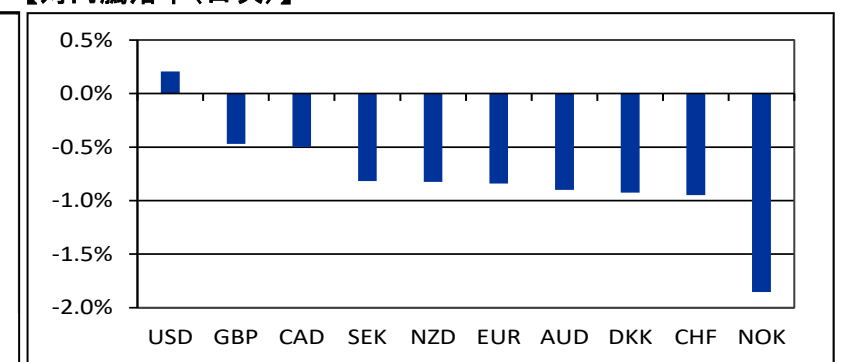
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月4日	17:55	独 サービス業PMI(確報値)	12月 49.0	49.0
	18:00	欧 サービス業PMI(確報値)	12月 49.1	49.1
1月5日	00:00	米 ISM製造業景況指数	12月 48.5	49.0
	04:00	米 FOMC議事録	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-132.00	1.0565-1.0595	137.50-139.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は、上下に往って来いの展開。アジア時間については、昨年末の日銀物価見通しの上方修正検討の観測記事による仕掛け円買いの動きに、130円水準を割り込み一時129円台半ば付近に迫る勢いを見せた。海外時間に入り、2023年の景気リセッション懸念に対する米金利低下を背景に、下落の流れが続くも、金利低下一服後にはじりじりと反発し、結局130円台後半まで回復して引けた。本日は、本邦勢が祝日明けとなり、取引活発化が見込まれるが、本格的な動意付きは今週末の米雇用統計以降を想定し、130円台水準でのみみ合いとなろう。引き続き流動性に乏しい状況下、年始のクラッシュ的な値動きには要注意したい。
--